



ママ戦士 小島佳苗さんの1日

5:50	起床
6:00	お弁当・朝食づくり 娘(中1)を送り出す準備
6:30	娘送り出し WEB-SNSなどのチェック!
7:00	朝食(夫・息子・自分用)作り、そして朝食
8:00	息子見送り 息子を送り出してから、家事をスタートさせます
8:30	仕事開始 時に遊具点検・体動かしイベント・教室 時にカウンセリング・トリートメント又はWEB SHOP発送等 また時に、交流会等へ参加等
18:00	仕事終了 息子スイミング送り迎え、夕食作り
19:30	夕食
20:30	だんらん子ども達の宿題チェック、アチトレ アチトレーニングの内容は…秘密です!
21:00	息子就寝(読みきかせ)
21:30	お風呂
22:30	仕事又はやりのこした家事 また、スキルUP勉強タイム
6:00(2:00)	就寝

「ふわふわの森カフェ」の店主で、カラーリストでもある小島佳苗さんに聞く

「3つの質問」 Q & A

- Q 家事で溜まったストレスを発散するには、どうしたらよいのでしょうか？

A 自分の心が何を望んで生きるのかをしっかりと把握することです。ノンビリしたいのか、おいしいものが食べたいのか、睡眠を取りたいのか…。そして、その欲求を満足させることが重要です。また、よい睡眠をとるために寝室にはラベンダーカラーを視界に入れておくこともよいです。ラベンダーカラーには心を鎮める役割がありますので快眠のお手伝いをしてくれます。

Q 家族がバラバラで困っています。何かまとめる方法はありませんか？

A 家族全員が個人個人の目標を書き出してみることをおすすめします。紙でも、黒板でもよいのですが、みんなの見える場所に「目標」を貼っておくことで、家族のみんながどんな目標に向かっているのかを知ることができます。そして、できることは協力してある、頑張っている時にはほめてあげれば、知らず知らずのうちに絆が深まり、まとまっていくはずです。

Q 子どもが情緒不安定で悩んでいます。どう対処すればよいのでしょうか？

A 恥ずかしがらずに抱きしめてあげてください。何も言わずに抱きしめるだけで子どもは安心します。そして、子どもの表情の変化を観察し、その中にSOSを発信していたり悲鳴をあげていることに敏感になってください。でも、無理やり話を聞き出すのではなく、子どもの話に耳を傾け、じっくりと聞いてあげましょう。話の中に情緒が不安定になる原因が隠されているはずです。



NEWS

会社紹介

「0歳からはじめる運動教室 フィジカルパーク」が6月末にオープン! 子どもの成長に合わせた効率の良い運動が子どもたちの運動能力を高めます。同時に「運動知力を高めるためのご家庭でのサポート」も。個別(もしくは少人数制)でサポートできることも「フィジカルパーク」の特徴です。お受験コース事頭に、親子運動クラス、発育応援クラスなどありますので興味がある方はぜひ。

株式会社トラストボーネ
神奈川県横浜市栄区上郷町 262-3
tel.045-382-9081
<http://trustball-ap.com>

株式会社トラストボールアプリシェイト

神奈川県横浜市栄区上郷町 262-
tel.045-382-9081

A blackboard with Japanese text and a drawing of a person. The text reads: 「ふわふわの
森カフェでは、
ママ交流会も
やっています。」

また、環境事業の一環として光触媒を使用し、幼稚園バスやお教室を抗菌する業務も手掛けています。子どもたちが学び、遊ぶためのスペースを清潔に保つことはとても重要なことです。

新しく開講する「0歳からの運動教室」について教えて下さい。

歳から脳を効率よく脳を鍛える場所」として、「ママのメンタルセラピー」をコラボした、新しい「運動×メンタルセラピー」の融合的な場所になります。ママが学び、そして癒されることを「子供の成長につなげる」教室となつてていきます。

が分かり、雑貨屋をベースに色彩検定の資格を生かした「メンタルサポート・カラー診断」をするようになつたのです。

女性は家庭をもち、お母さんであることで大きな喜びと共に多くの悩みも抱えることになります。でも、その悩みを打ちあける場所をもつていいなお母さんたちも少なくあります。家庭の中で孤独を感じてしまい、相談する相手もいなければ、お母さんはつぶれてしまします。そんな時、話を聞いてくれる人間と場所が必要になるのです。「ふわふわの森カフェ」はお母さんたちを癒す雑貨を置くだけでなく、お話をしたり、カラーセラピーやアロマトリートメントで心を癒していくいただいています。

● 最後に、全国の悩めるお母さんたちに何かアドバイスをお願いします。



力強くしなやかな
日本の働くママたちに迫ります！

ニッポンの “ママ戦士”たち

子どもたちが安心して遊べる環境の整備を目的とした「トラストボールアブリシェイト」のカラーリストとしてママたちの心を癒す雑貨屋「ふわふわの森カフェ」店主であり、代表取締役でもある小島佳苗さん。2児の母であり働くママの小島さんに、お仕事と家庭についてお話を伺いました。

photo/hiroyuki monguchi text/masataka namiki

会社
ストボールアプリシエイト
取締役

小島 佳苗さん

Profile 小島 佳苗（こじま かなえ）

2011年に株式会社トラストボールアブリシエイトを設立。神奈川県横浜市を拠点に関東を中心とした公園づくりをサポート活動を展開。子どもたちの「環境」「心」「体」のバランスを保ち、より安全で楽しい生活を追求し、遊具の点検・補修・砂場除菌業務を行うことで、子どもたちが安心して遊べる環境を提供。ママたちの憩いの場である雑貨店「ふわふわの森カフェ」の店主でもある。中学生1年生の娘、8歳の息子をもつ2児の母。

私は小さい頃から運動が大好きで、10歳の時にテニスに夢中になりました。中学・高校ではテニス部の部長を務めました。大学時代にはテニスのコーチをしながら全日本選手権に出場し、日本ランキングまで到達することができたのです。でも、ある時を境に「テニス以外の人生もあるのではないか」と考え、色彩が人の心に及ぼす影響を学び、色彩検定2級、カラーアドバイザー、カラーリセラピストなど、色に関する様々な資格を取得しました。その後、結婚をして子どもが生まれたのですが、「社会とつながっていたい」と思い起業することにしたのです。

ちが安全に遊べる場所を提供するための「環境事業」と体を動かすことで脳や心を健康に、「体動かし事業」を始めたのです。

● メインのお仕事である「環境事業」について教えてください。

今、日本中の公園から「遊具」が消えていることをご存知でしょうか？ 遊具の老朽化、メンテナンスの不備などで事故やケガをすることが多発しています。ならば遊具を撤去してしまえば事故は起ららない…。そんな安易な政策が増え続けているのを知り、私たちが遊具の点検、修理、砂場の除菌などを手掛け、行政と共に子どもたちが安心して楽しめる公園作りをサポートしていくと事業を始めたのです。子どもたちが安心して遊べる公園、ママたちが安心して遊ばせることのできる公園こそが、今の子どもたちには必要なものではないでしょうか。

